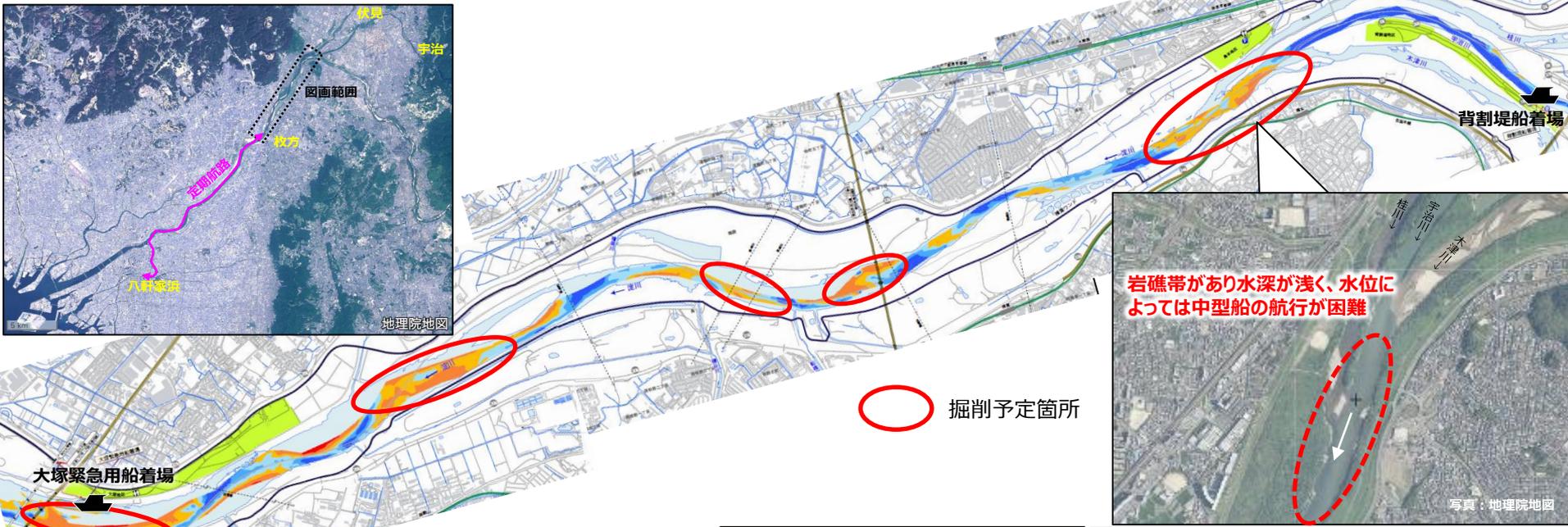


近畿地方整備局による 取り組みについて

令和5年3月14日
淀川舟運活性化協議会

- 今年度より、大型船による**定期航路（大阪市内（八軒家浜船着場）～枚方）**の**安全な航行を可能**とするため、枚方大橋周辺の河道掘削を実施予定。
- あわせて、**枚方～三川合流部までの中型船の安全な航行を可能**とするため、浅い場所等の河道掘削を実施予定。
- その後、引き続き三川合流部～伏見についても、航路確保に必要な対策を実施予定。



0.0m～0.5m
0.5m～1.0m
1.0m～1.5m
1.5m～2.0m
2.0m～2.5m
2.5m以上



- 大阪湾から京都方面まで一気通貫の航路を確保すべく、船舶航行を遮断している淀川大堰に新たな「閘門」を設置する工事に令和3年度より着手。
- 2025年大阪・関西万博開催までの運用開始を目指し、掘削等の基礎工事や本体工事を実施中。



淀川大堰閘門施設諸元
閘室幅：20m 閘室長：70m
通行可能船舶：100～500t級台船
船舶通過時間：約20分



十三地区(かわまちづくりと連携したハード整備)

- 大阪市淀川区では、十三地区河川敷の魅力向上を目指した「かわまちづくり」に取り組まれているところ。(令和4年8月にかわまちづくり計画を登録)
- 2025年大阪・関西万博開催までの完成を目指し、「かわまちづくり」と連携した緊急用船着場及び堤防上の利活用に向けた基盤整備(堤防裏法面の盛土)を実施。

